

～ 人権・同和教育だより ～

「空に風 人に愛」

島根県立浜田高等学校
定時制・通信制課程

第10号 2022. 1. 31 (月)



< 人権・同和教育HR活動 >

定時制では、1月14日（金）に人権・同和教育HR活動を実施しました。各学年・部で実施した内容について、簡単に紹介します。

屋間部 1年	「理想の友だち（ダイヤモンドランキング）」 ①友だちとのよりよい関係を作っていくために自分が大切だと思うことを考え、9つの項目から選んで、ダイヤモンドランキングを作る。 ②①の順位をつけた理由を書く。 ③グループごとに、自分のダイヤモンドランキングを見せながら順位づけの理由を発表し合う。 ④ワークシートで話し合い、グループとしてのダイヤモンドランキングを作り、その順位をつけた理由を書く。 ⑤グループごとに発表する。	(ランキングを作る項目) ・よくないことを注意してくれる ・困った時なんでも相談できる ・うそをつかない ・相手を尊重し悪口を言わない ・失敗しても許してくれる ・勉強を教えてくれる ・自分の気持ちをわかってくれる ・一人でいたら声をかけてくれる ・話をきちんと聴いてくれる
屋間部 2年	「ともに生きる社会を目指して」 ①ポイントを確認し、DVDを視聴する。 ・バスケットボールが好きな高校生の「田中くん」が、脳の疾患により、右半身不随になる。チームメイトと同じ練習ができないのに、田中くんは毎日体育館に通う。監督は、いろいろな不安がありながらも、高校3年生最後の試合に田中くんを出場させることを決意し、チームメイトは賛成する。 ・田中くん、チームメイト、監督、家族の思いを考える。 ②様々な立場の人たちと「ともに生きる社会」の実現に必要なことを考える。	
屋間部 3年	「差別意識の背景 ～部落差別の歴史（明治～現代）と現代の課題について～」 ①ポイントを確認し、DVDを視聴する。 ・明治時代、解放令が出たものの解放令反対一揆が起こったのはなぜか ・(1922年水平社宣言)被差別の立場の人たちが解放運動を起こしたのはなぜか ・戦後、差別は解消されたか？政府の差別解消への取組は？ ②DVDの内容を考察し、いろいろな立場の人たちの心情や状況、行政側の対応を知る。 ③差別の背景として、差別する側の感情によるものがあることに気づく。 ④身近な場面での偏見や差別の意識や問題について自分のこととしてとらえ、差別解消に向けて個人の行動が必要であることを理解する。	
屋間部 4年	「出会いから学ぶ（結婚差別について考える）」 ①ポイントを確認し、DVDを視聴する。 ・「闘いに勝つ」「差別に勝つ」とは ・高田美樹さんの、視覚障がい者のバンドとの出会いを通して ・高田さんの両親が受けた結婚差別、高田さん自身の被差別体験 ・人権教育、同和教育とは ②DVDの内容を考察し、印象に残った言葉や自分が感じたことを記入する。 ③クラス全体で自分の考えを共有する。	

(裏面へ続く)

夜間部	<p>「外国人と人権 違いを認め、共に生きる」</p> <p>①ポイントを確認し、DVDを視聴する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本を訪れた外国人や日本で暮らす外国人が困ることはどのようなことか。 ・外国人とともに仕事をしていく 上で必要なことは何か。 ・ヘイトスピーチはなぜ行われるのか、どのようにしたらなくすることができるか。 <p>②DVDの内容を考察し、自分の考えを記入し、全体で発表し共有する。</p> <p>③多文化共生社会を築くためにはどうすればいいか考え、全体で共有する。</p>
-----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

グループでの活動や、DVDの視聴を通して、自分自身や人との関わりについて、振り返ったり改めて気づくことがあったりしたのではないかと思います。授業後にみなさんが書いてくれた感想から、いくつか紹介します。

<p>昼間部 1年生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回のHR活動で、周りのグループとは順位がちがったけど、どのグループの内容も大事だと思った。今回のHR活動では、お互いの意見を聞き、自分の考え、友だちの考えのどちらも尊重しながら協力して活動できました。 ・みんなが大切だと思うことと自分が大切だと思うことは、同じこともあったけどちがうこともあった。私は「よくないことは注意してほしい」を2番にあげていました。よくないことをして注意してくれる友だちはあまりいません。自分がよくないことをしたときに、注意してくれるのは本当の友だちだと思いました。
<p>昼間部 2年生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周りの人たちに支えられていたから、前に進めるんだなと改めて思いました。 ・DVDを見て、田中さんの頑張り他にチームメイトとの信頼などがあるなと思いました。様々な立場の人たちと自然に関わること、内面を見る（知る）ことを心がけたいと思いました。 ・困っている人を気にかけてあげるのが大切だと感じた。自分が助けられる立場を経験したことがあるので、その経験を生かして接する距離感やかける言葉を考えていきたい。 ・差別をする人がいるけど、（一方で）その人の努力をしっかり見ている人もいるんだと思った。偏見で物事を考えずにその人の努力や思いを考えて行動しようと思った。
<p>昼間部 3年生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部落差別を解消するのにいろいろな政策がなされてきたけど、やっぱり個人の意識のちがいでよい方にも悪い方にも行ってしまっただなと思いました。これからの自分にできることは、1番は差別をしないこと、そういう気持ちがあっても表に出すことは本当によくないと思うし、これからの差別をしている人を見たら勇気を出して声をかけることが大事だと思いました。それだけでも人の気持ちは変わると思うから、差別がなくなるような行動をしていきたいです。 ・差別はしてはいけないものだとずっと前から分かっていたことですが、よく考えてみると自分の中に差別意識がないわけではないと感じました。なのでその差別意識が行動に出ないように気をつけて生活したいと思いました。
<p>昼間部 4年生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私自身差別に対してだったり、物事に対してだったり「逃げてもいい」という考え方がなかったので、高田さんの話を聞いて逃げることも自分のためであり悪いことではないと言うことを強く感じました。学習を通して差別がなくなればよいという他人事ではなく、自分と向き合う時間を増やしたいと思いました。 ・4年間で最後の人権・同和教育の授業でしたが、今までで一番濃い時間になったと思います。4年間で学んだこと、感じたことを生かして卒業後の新たなステージでもさらに学び続け、より良い社会人、他者に思いやりをもてる人になっていこうと思いました。
<p>夜間部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉が通じなかったり文化の違いがあっても丁寧に接したいと思いました。 ・ヘイトスピーチは許せないと思いました。